

2020年10月2日

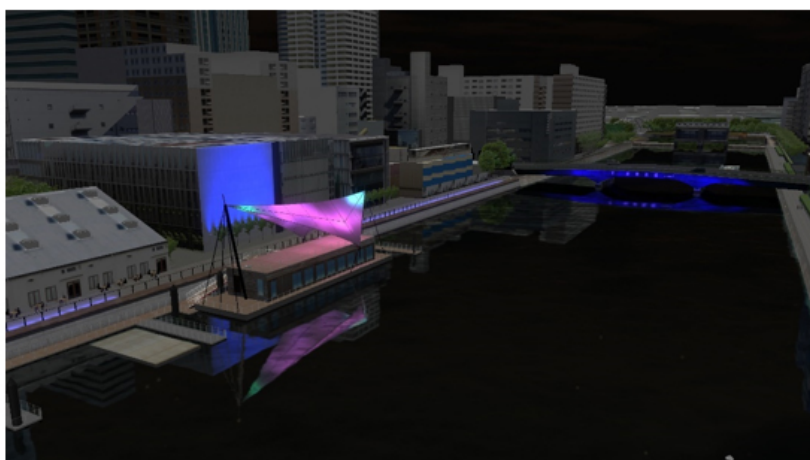
## ニューノーマル時代の街づくり事業者を支える、 人起点のクラウド型エリア価値創造サービス実証実験 ＜天王洲エリア・チャンネルアートモーメント品川2020＞イベント協働 ～既設の設備も活用した光・音による街空間演出と エリアマネジメント・プロモーション支援～

パナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、2020年10月10日（土）～11日（日）東京都品川区（天王洲運河、以下本エリア）で開催される「チャンネルアートモーメント品川2020（以下、本イベント）」にて、光・音のクラウドリモート制御による街空間演出とエリアマネジメント・プロモーション支援を組み合わせたエリア価値創造サービスの実証実験を実施します。

パナソニックは、水辺空間の演出、自社遊休地をリノベーションした複合施設TENNOZ Rimの構築・運営等により、本エリアの活性化に2016年から貢献してまいりました。これらの知見をもとに、ニューノーマル時代に求められるエリア価値を創造するサービスを構想し、各種設備・空間演出・IoTクラウド技術・映像制作・配信技術・センシング技術を組合せ、主催者の品川区、一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会、協賛者で本エリアに本社ビルを保有する寺田倉庫株式会社等の協力の下、光・音の空間演出によるエリア体験価値向上、ニューノーマル時代のエリアマネジメント支援、OMO（Online Merges with Offline）によるエリアプロモーションといったエリア全体の新しい価値を創造するサービスの検証を行います。

### ■ 本実証実験で取り組む内容

- (1) クラウド制御による光・音の空間演出を通じたエリアの顧客体験価値向上
  - －誘導・誘客・密回避など、人の行動に働きかける照明演出
  - －ライブパフォーマンス音響と照明の連動による空間演出
- (2) ニューノーマル時代のエリアマネジメント支援サービス
  - －現場センシングによる来場者マーケティング（年代・性別・人数測定／群衆計測）
  - －来場者管理（マスク・体表面温度検知）
  - －街空間演出VRによる運営事前シミュレーションとリアルタイム演出確認
- (3) OMO（Online Merges with Offline）によるエリアプロモーション



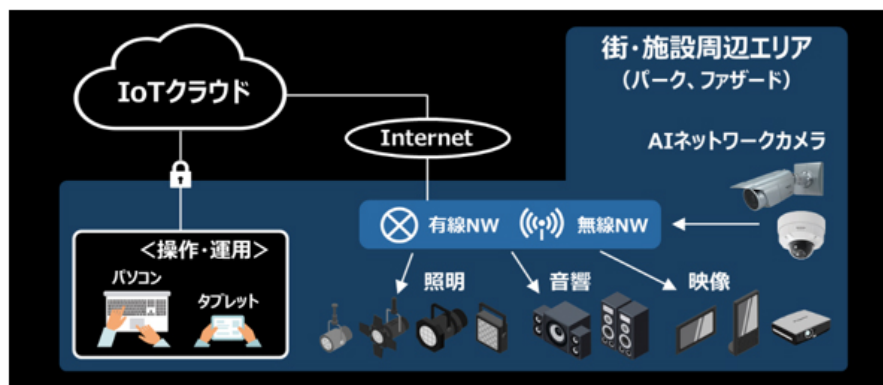
パナソニックは、今後も天王洲エリアの価値向上を進めていくと共に、ニューノーマル時代のエリア価値創造に貢献するソリューションを開発し、マイクロツーリズムやナイトタイムエコノミーの推進など持続的に成長していく街づくりに貢献していきます。

## ■街づくり事業者を支え、エリア価値を創造するサービス構想とは

エリア内に既に設置されている照明・カメラ・プロジェクター・音響の各設備や、イベント時に仮設する設備をクラウド接続し、連動させるサービスプラットフォームを構築することで、街の日常時、イベント開催などの非日常時に合わせた空間演出と、エリアマネジメント・プロモーション支援サービスを包括的に提供し、エリアの新しい価値を創造するサービスの実現を目指します。



エリア価値創造サービスの構想イメージ



本実証を通じて今後具体化を目指すサービスプラットフォーム(イメージ)

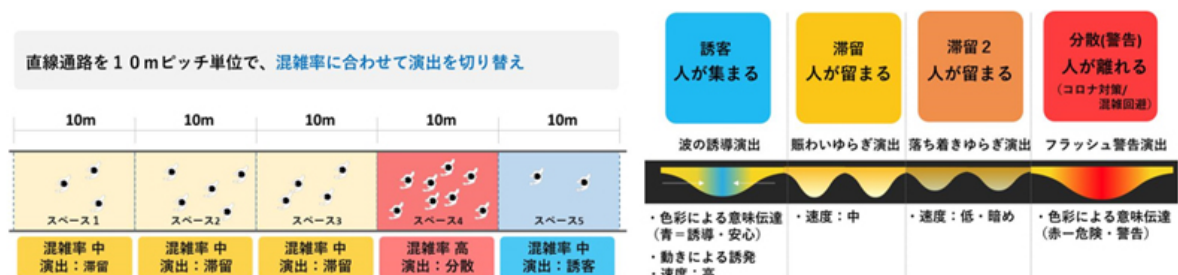
## ■実証内容 詳細

### (1)クラウド接続・制御による光・音の空間演出を通じたエリアの顧客体験価値向上

<誘導・誘客・密回避など、人の行動に働きかける照明演出>

ライティング設計技術とセンシング技術を活用し、空間ごとの混雑度に応じて、人の滞留、誘導、分散を促す照明演出を行う事で、賑わい創出、快適な移動・回遊の促進、密回避の実現を図ります。

今回の実証では、施設への誘客やコロナ禍での密回避を想定して、照明が人の行動に働きかける効果の検証を行います。今後は、街区設計の際、空間ごとに設定された役割の意図に合わせた照明演出を行う事で、空間に込めた意図を増強し、エリアの顧客体験価値向上を図ります。



混雑度に応じた照明演出(イメージ)

## <ライブパフォーマンス音響と照明の連動による空間演出>

・ライブパフォーマンスの音に合わせ、エリア全体に設置された84台の照明を同時に制御。エリア全体をまるでライブステージのような空間にすることで、より観客との一体感向上を図り、非日常的な体験を演出します。

将来的には、エリア内の照明と音響を連携させ、季節やイベントにマッチするBGMをクラウド経由で配信し、照明演出と組み合わせたリアルタイム制御をすることで、1年を通し体験価値向上を図ります。



## (2) ニューノーマル時代のエリアマネジメント支援サービス

### <現場センシングによる来場者マーケティング／来場者管理(マスク・体表面温度検知)>

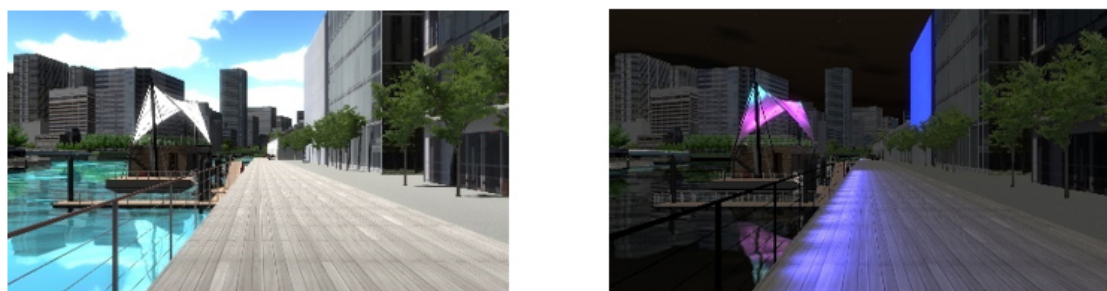
・画像認識技術を活用して、来場者の性別、年代、人数や、群衆計測による空間の混雑度などを可視化し、エリアマーケティングにおけるデジタル化推進に向けた有効性を検証します。更に来場者のマスク検知・体表面温度検知など、安全安心対策に向けたAIカメラの更なる活用可能性を検証します。



現場センシング(イメージ)

### <街空間演出VRによる運営事前シミュレーションとリアルタイム演出確認>

・天王洲エリアのVRを作成し、照明空間演出の事前シミュレーションを行うことで、ロケーションオーナーやイベントパフォーマーとの演出検討を支援します。



天王洲エリアの街空間演出VR(左)とVRによる照明空間演出の事前シミュレーション(右)

### (3)OMO(Online Merges with Offline)によるエリアプロモーション支援

各種イベント演出、プロモーション動画の制作・配信など、今まで、パナソニックが本エリアのプロモーション企画・運営をサポートしてきた知見をもとに、本イベントでは、オフラインとオンラインが融合した、コロナ禍における新しい地域イベントの在り方を提案し、その実現に向けたチャレンジをサポートいたします。

#### <VRライブ配信>

・屋外では業界初※となる高速追従プロジェクションマッピングによる演出を活用したライブパフォーマンスのVR映像を臨場感ある360°カメラにより撮影し、Web上でライブ配信します。離れた場所からでも、ステージの演出を正面から楽しむことができ、ソーシャルディスタンスの確保にも貢献します。

※2020年10月現在 当社調べ。



VRライブ配信(イメージ)

#### <VRフェス会場>

・VRによる360°の空間を通じて、まるで実際にフェスに参加しているかのような一体感、オンラインならではの特別感を演出したサイトを構築し、Web上に公開します。

[https://contents.360-vr.jp/contents/tennoz\\_canal\\_fes/](https://contents.360-vr.jp/contents/tennoz_canal_fes/)



VRフェス会場

### ◆ご参考:チャンネルアートモーメント品川2020 ~Art Empowerment~ 開催概要

開催日時:2020年10月10日(土)・11日(日)18:00~20:00(10日のみ、開会式17:45より予定)

会場:天王洲チャンネルイースト(東京都品川区東品川2丁目/天王洲アイル第三水辺広場周辺)

※詳細は、イベントHPをご覧ください。<https://canal-art-moment.com/>

※本イベントは完全予約制です。イベントHPよりお申込みください。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。